

# 全学同窓会設立10周年記念事業報告



名古屋大学全学同窓会  
代表幹事  
伊藤 義人

## 1. はじめに

名古屋大学全学同窓会は、平成16年度の国立大学法人化を控えた、平成14年10月27日(日)に設立され、本年(平成24年)満10周年を迎えました。これを記念した行事を第8回名古屋大学ホームカミングデイにおいて実施しました。ホームカミングデイ行事全般を含めて、全学同窓会設立10周年記念事業について報告します。

## 2. 全学同窓会設立10周年記念事業

全学同窓会設立10周年記念事業として以下を実施しました。

### 1) 海外支部長の招待

全学同窓会は、海外支部設立に特に力を入れてきましたが、その最初の支部として、平成17年(2005年)に韓国支部を設立しました。図-1に示すように、12月14日設立のラオス支部を含め、これまでに11の海外支部を設立しました。今後も、インドネシア、ミャンマーなどの支部設立を予定しています。

設立10周年を記念し、10月20日(土)開催のホームカミングデイにあわせて10の海外支部長を招待しました。残念なことに、バングラデシュ支部長のイスラム・カーンさんが、直前に交通事故(全治4週間)にあい、急遽来日できなくなりましたが、9支部の支部長またはその代理の方が来日されました。



図-1 全学同窓会海外支部設立状況  
(平成25年1月1日現在)



図-2 海外支部歓迎会記念写真

### a) 海外支部歓迎会

ホームカミングデイ前日の夜に、海外支部長などの支部代表と豊田会長を始めとする全学同窓会役員及び濱口総長を始めとする名古屋大学役員による海外支部歓迎会を学内のグリーンサロン花の

木で開催しました（図-2）。

#### b) 全学同窓会評議員会懇談会への参加

ホームカミングデイ当日開催の全学同窓会評議員会懇談会（昼食会）に、国内支部長とともに参加いただき、簡単な挨拶をいただきました。

#### c) 感謝状の贈呈

ホームカミングデイ「名古屋大学の集い」において、豊田会長から海外支部長に、支部及び全学同窓会発展への貢献を賞して、感謝状と記念品を贈呈しました。感謝状は日本語と英文の両方を作成し、英文には、豊田会長に直筆のサインをいただきました。

### 2) 大学にアカデミックガウンを寄贈

名古屋大学アカデミックガウンの制定は、20年近く前から、留学生から要請されていましたが、種々の理由で実現していませんでした。平成23年にタイ支部長のアピナン・スプラサートさんがカセサート大学獣医学部長に就任され、正式なアカデミックガウン制定への強い要望が齋藤元農学部長経由で寄せられました。これを受けて、全学同窓会がタイでアカデミックガウンの見本を製作し、濱口総長にお願いして、私が役員懇談会で説明し、承認をいただきました。

「名古屋大学の集い」では、壇上の全員がアカデミックガウンを着用しお披露目をしました。また、全学同窓会設立10周年を記念して、15着のアカデミックガウンと角帽を大学に寄付することにし、豊田会長から濱口総長に寄贈目録を贈呈しました（図-3）。



図-3 アカデミックガウン寄贈目録の贈呈

なお、寄贈したアカデミックガウンは、留学生などが記念撮影の際に着用できるよう、各研究科に1着ずつ配られました。

### 3) 全学同窓会設立10周年記念誌の発行

広報委員会（鈴木委員長）によって、全学同窓会設立10周年記念誌を上梓しました。会長、副会長などからご挨拶文をいただくとともに、設立の経緯とこの10年間の活動を記録しています（図-4）。



図-4 10周年記念誌表紙と豊田会長挨拶文

### 4) 設立10周年記念懇親会の開催

ホームカミングデイ終了後の夕方5時から、シンポジオンホールで全学同窓会設立10周年記念懇親会を開催しました。

会場入口では、応援団から出席者全員に紙メガホンが配られ、会冒頭には、名古屋大学混声合唱団による学生歌など3曲の演奏がありました（図-5）。私が進行を担当して、岡田副会長から開会の挨拶をいただいた後、濱口総長から祝辞をいただきました。その後、国内支部長と海外支部長またはその代理の方々を紹介し、挨拶をいただきました。今回の招待を大変喜んでいること、また、名古屋大学および全学同窓会に感謝していることが述べられました。

平成17年（2005年）12月に設立されたタイ支部の支部旗は、平成23年（2011年）7月の洪水で流出したため、再度同窓会本部で製作し、懇親会の席で当時総長であった平野先生（全学同窓会顧問）から、アピナン支部長に贈呈していただきました（図-6）。

続いて、応援団からエールを送ってもらった後、太田全学同窓会顧問による乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

最後に、紙メガホンに印刷された学生歌を皆で歌い、再度の応援団エールに送られて懇親会は終了しました（図-7）。



図-5 オープニングでの混声合唱団  
と同窓会役員



図-6 タイ支部旗の再授与



図-7 応援団からのエール

### 5) 支援会員増強・同窓会カード会員増強等

2年間の準備期間を経て、平成19年2月から、財政基盤整備を主な目的とした同窓会カード（名古屋大学カード）の発行を開始しました。図-8に示す豊田講堂レリーフ入りのヤングゴールドカードで、年会費は永年無料です。国内・海外旅行傷害保険の付帯もあり、ポイントも全て個人にたまります。カードを利用していただくと、利用額の一定割合が全学同窓会に還元されます。

現在のカード会員は約9,200名で年間約700万円が全学同窓会に還元されています。全学同窓会では、これを財源とした大学支援事業を実施しており、大学行事や学生活動を支援しています。カード事業の収益は、大学支援の重要な財源になりつつあり、今後が期待できます。

今回、設立10周年を記念として、カード会員1万人達成を目標にしています。カードを利用するだけで大学とのつながりを意識でき、かつ、大学支援にもなりますので、是非ともこの機会にご入会ください。Web (<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>)でスピード入会もできます。

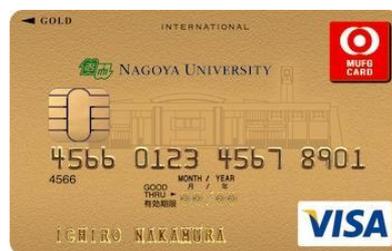


図-8 同窓会カード（名古屋大学カード）

### 3. 第8回ホームカミングデイ

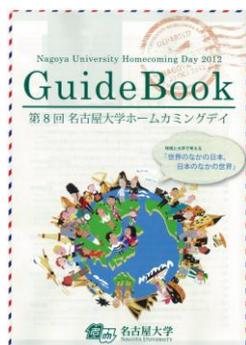
ホームカミングデイは、全学同窓会からも大学に実施を要請し、大学主催行事として、法人化翌年の平成17年度から実施され、本年度で8回目となります。名古屋大学のホームカミングデイは、もちろん、卒業生・修了生が主な対象者ですが、現役学生の保護者や大学周辺の市民をも対象としています。毎年4,000人前後の参加者を迎え、かなり定着してきており、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏は特に人気があります。

図-9 にホームカミングデイの事前ガイドブッ

クと当日ガイドブックの表紙を示します。

今回のホームカミングデイで最も目玉になった行事は、シンポジオンで行われた丹羽宇一郎副会長（駐中国日本国大使）による「グローバル化時代の大学と学生に求めるもの～名古屋大学から Nagoya University へ～」と題した講演会でした（図-10）。豊田会長や濱口総長も出席され、テレビカメラも3台入りマスコミも注目しました。講演の前半は、中国と日本の関係は尖閣諸島の件で、ここ40年間の努力が水泡に帰しており、関係改善には非常に長い時間がかかるだろうという内容でした。後半では、向上心を持って世界の中で挑戦してほしいという学生へのメッセージが出されました。

「名古屋大学の集い」第1部は、浦口史帆東海テレビアナウンサーの司会で進行されました。濱口総長、豊田会長の挨拶の後、ホームカミングディレクター兼全学同窓会代表幹事として、私からホームカミングデイの趣旨と全学同窓会設立10周年について報告しました。続いて、濱口総長から北京支部長のパンさんとベトナム支部長のロンさんに国際交流貢献顕彰が授与され（図-11）ました。前述しましたように、アカデミックガウンお披露目のため、豊田会長や濱口総長だけでなく、壇上の全員がアカデミックガウンを着用して、行事が進行されました。



事前送付ガイド

当日ガイド

図-9 ホームカミングデイガイドブック

「名古屋大学の集い」第2部の名古屋フィルハーモニー交響楽団（図-12）によるコンサートは満員となりました。最初の曲目の大学祝典序曲（ブラームス）は、多少不安定な始まりでしたが、バイオリニストの吉田恭子さんを迎えてのバイオリン協奏曲（メンデルスゾーン）と交響曲第1番（ブラームス）は、出色の出来映えで皆さん大変満足していました。吉田恭子さんからは、「大変気持ちよく演奏できた」との感想をいただきました。

その他のホームカミングデイ行事は以下のようです（図-13～17）。

a) 販売コーナー

附属図書館による本のリユース市  
農産物の販売、生協による名大グッズ販売

b) 体験企画

キャンパスの自然観察  
名大ウォーキングツアー  
あかりんご隊科学実験  
セグウェイ体験コーナー（今回初めて）  
名古屋大学 NUMAP

c) 施設見学ツアー・公開

スパコン、メディアスタジオ、超高压電子顕微鏡、他  
豊田講堂見学ツアー（今回初めて）

d) スポーツ企画

サッカー親子教室（グランパスコーチ）

e) 附属図書館、博物館、文書資料室企画

f) あいちサイエンスフェスティバル



図-10 丹羽宇一郎副会長講演



図-11 国際交流貢献顕彰受賞者との記念写真



図-15 グランパスコーチによるサッカー教室



図-12 名フィルコンサート（独奏：吉田恭子）



図-16 農産物販売



図-13 附属図書館の本のリユース市



図-17 豊田講堂ホワイエ（法学部展示など）



図-14 あかりんご隊の科学実験

#### 4. おわりに

名古屋大学全学同窓会は、設立10周年を迎えている程度の成果も上がっていますが、多くの課題も抱えています。今後とも全学同窓会活動にご参画いただきますとともに、物心両面でのご支援をお願いいたします。